



(主防のボートによる救出訓練)



(ヘリコプターによる医薬品の空輸)



(中島新道町婦人の初期消火訓練
写真提供 加藤貞行町内会長)

"来年もまたきますよ、"

市長が市内最高齢者を訪問

(食事は一日二食という佐野さん)



(一族に囲まれて喜びの清水さん)



いつまでも元気で、長生きしてくださいと、9月14日・15日、市内最高齢者の佐野恵作さんと、清水ふでさんを渡辺市長が訪問し、敬老の日の贈り物を手渡しました。

佐野さんは、ひ孫が132人もあり今年、やしゃごが誕生予定とのこと。

清水さんも、最近耳が少し遠くなった以外は元気。

おふたりとも長寿の秘訣は、おこらないこと、腹八分目の食事、夫婦円満と話してくれました。

市長が、「来年もまたきますから元気でいてください」と話しかけるとおふたりとも元気にうなずき、家族の方々も「県下最高齢者になるまで元気でいてほしい」と話していました。



母親に牛乳を

無料配布して

(こえ) 都市によっては、母子手帳

が交付されると同時に市で牛乳を支給してくれるところがあるようです。

富士市でも母子手帳交付から一年位は、母親に無料で牛乳を支給していただければと思いますがどうでしょうか。(松岡Mさん)

(こたえ) 牛乳の無料配布については、生活保護世帯、市民税の非課税世帯の妊婦または、低体重児を対象に実施しています。

その支給期間は、妊娠5ヶ月からで、出産後も3ヶ月間支給されるほ

か、乳児の分として、生後4ヵ月から12ヵ月まで支給されます。

これは、健康な発育のため効果があるといわれている牛乳の購入が、経済的に困難な家庭を援助しようとするものです。

また一般家庭までこの制度を適用することについては、現在考えていませんが、各家庭の経済的な能力の問題をどう考えていくかによって検討する必要はあると感じています。

(市・健康課)